

2010年度「人を対象とする研究計画」に関する審査結果の公表について

標記の研究計画につき、「立命館大学における人を対象とする研究倫理審査委員会規程」に基づき、下記のとおり審査・承認しました。
(承認済の研究計画のみを本HPにて公開します。)

立命館大学における人を対象とする研究倫理審査委員会

*** 衣笠キャンパス審査委員会(29件の研究計画を承認) ***

受付番号/承認番号	衣笠-人-2009-20		審査結果	2010年4月16日 承認	K-1
申請研究者	所属	立命館グローバル・イノベーション研究機構	職名	ポスドクトラルフェロー	
	氏名	蘭 悠久			
研究期間(予定)	～ 2011年3月31日				
研究課題名	盲点における視覚的補完および視覚情報処理およびそれらの知見の応用に関する研究 (R-GIRO研究プログラム「応用錯視学のフロンティア」(2009年度採択)の分担研究を含む)				
審査委員会所見/備考	① 実験時には、研究対象者の眼精疲労に対して常に細心の配慮を怠らないこと。 ② 研究計画が、今回の審査内容から次の段階に移る場合には、あらかじめ研究計画の審査を受けることが望ましい。				

受付番号/承認番号	衣笠-人-2009-21		審査結果	2010年4月16日 承認	K-2
申請研究者	所属	文学部	職名	教授	
	氏名	土田 宣明			
研究期間(予定)	～ 2010年9月10日				
研究課題名	抑制機能の加齢変化 -継続的変化に注目して-				
審査委員会所見/備考	特に無し				

受付番号/承認番号	衣笠-人-2009-22		審査結果	2010年4月16日 承認	K-3
申請研究者	所属	文学部	職名	教授	
	氏名	北岡 明佳			
研究期間(予定)	～ 2011年3月31日				
研究課題名	静止画が動いて見える錯視群のメカニズムの研究 (研究資金である科研・基盤研究Aの申請タイトルは「新しい錯視群の多面的研究 -実験心理学・脳機能画像・数理解析の手法を用いて-」)				
審査委員会所見/備考	① 本研究は低侵襲ではあるがヒトの脳機能に関わるものであり、偶発的所見の発見の可能性も含め、脳科学研究・医学研究の要素が一部含まれるものと考えられる。そのため、医学研究の国際指針である世界医師会「ヘルシンキ宣言」および、日本神経科学学会「ヒト脳機能の非侵襲的研究」の倫理問題等に関する指針等についても十分留意のうえ、研究を遂行すること。 ② 使用機器(fMRI)の特性を考慮し、利用施設の安全基準を順守したうえで、研究対象者に対し常に細心の注意を払うこと。				

受付番号/承認番号	衣笠-人-2010-01		審査結果	2010年6月30日 承認	K-4
申請研究者	所属	国際関係研究科	職名	研究生	
	氏名	石原 豊一			
研究期間(予定)	～ 2012年2月1日				
研究課題名	スポーツのグローバル化に伴うプロアスリートの変容				
審査委員会所見/備考	前回条件付承認時における下記指摘事項に関し、一定の回答がなされたと判断し承認とする。 ① 取材開始時におけるインフォームドコンセント実施が難しい場合、研究対象者に関する研究終了時までの説明・同意取得に関するプロセスを別紙にて説明すること。 ただし今回の承認にあたり、審査委員会としてあらかじめ以下の点について充分留意するよう希望する。 ・ 申請研究者は、研究対象者および仲介者に対して、理解し得る平易な言葉での丁寧な説明を心がけ、研究成果公表の方向性を含めた調査主旨の理解が得られるように努めること。				

受付番号/承認番号	衣笠-人-2010-03		審査結果	2010年6月29日 承認	K-5
申請研究者	所属	政策科学研究科	職名	博士後期課程2回生	
	氏名	豊田 祐輔			
研究期間(予定)	～ 2010年12月31日				
研究課題名	援助の主体に着目した社会関係資本の測定を行うためのシミュレーション&ゲーミング開発に関する基礎研究				
審査委員会所見/備考	前回条件付承認時において説明を求めた下記指摘事項に関し、合理的な回答がなされたと判断し承認とする。 なお、調査地(フィリピン)の研究協力者に調査主旨を丁寧に説明した上で、研究対象者に対する配慮に問題が生じることがないように留意されることを念のため申し添える。 ① 本研究(ゲーム)を展開することが社会に対してどのようなインパクトを与え得るのか。 ② 虚偽説明が含まれる本研究におけるデブリーフィングのプロセス(具体的手順・実施までの期間等)に関する要点。 ③ デブリーフィングに伴って説明が求められると想定される研究のフィードバックに関し、研究対象者としてどのような説明がし得るのか。				

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-04	審査結果	2010年6月29日 承認	K-6
申請研究者	所属	産業社会学部	職名	教授
	氏名	小澤 亘		
研究期間(予定)	～ 2010年12月31日			
研究課題名	日本・韓国・カナダにおける大学生ボランティア意識比較研究			
審査委員会所見／備考	<p>前回条件付承認時における下記指摘事項に関し、合理的な回答がなされたと判断し承認とする。 なお、数ヶ国にまたがる合同調査である本調査に対して、他国の研究倫理委員会より問題点等の指摘がなされた場合は、当委員会へのすみやかな情報提供を希望する。</p> <p>① 申請書Ⅲ-5-1「対象者に与える危険や不利益等の可能性」に関わり、アンケートを実施時における授業との切り分け等、研究対象者に対し、どのような配慮を行うのか説明を求める。 ② 申請書Ⅲ-7-2「収集した個人情報やデータ等の管理」において、紙媒体の管理の厳密性に関する追加説明をおこなうこと。</p>			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-05	審査結果	2010年7月12日 承認	K-7
申請研究者	所属	社会学研究科／産業社会学部	職名	教授
	氏名	増田 幸子		
研究期間(予定)	～ 2011年3月31日			
研究課題名	2010年日韓国際比較調査 (大学院GP「海外大学協同による比較社会調査研究型教育」)			
審査委員会所見／備考	特に無し。			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-07	審査結果	2010年8月24日 承認	K-8
申請研究者	所属	応用人間科学研究科・対人援助学領域	職名	修士課程2回生
	氏名	坂本 まさみ		
研究期間(予定)	～ 2010年12月31日			
研究課題名	「自傷行為からの回復過程の分析」—看護の視点の事例からの考察—			
審査委員会所見／備考	<p>前回条件付承認時において説明を求めた下記指摘事項に関し、一定の対応がなされたと判断し、承認とします。 なお、研究遂行にあたっては、常に慎重を期すことを求めます。</p> <p>① 本研究は、研究対象者への侵襲性の高い研究であると見受けられます。しかし、臨床的側面における適切な研究管理・研究指導の体制が弱いと感じられるものです。申請者の指導教員ならびに研究対象者の主治医に相談の上、臨床的側面から本研究計画への指導体制を担保する方策に関し、委員会へ報告することを求めます。</p>			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-08	審査結果	2010年9月22日 承認	K-9
申請研究者	所属	応用人間科学研究科・対人援助学領域	職名	修士課程2回生
	氏名	田中 雅子		
研究期間(予定)	～ 2010年8月31日			
研究課題名	医療現場におけるリーダーシップ～看護部長としてのあり方について～			
審査委員会所見／備考	<p>前回の条件付承認時における下記指摘事項に関し、十分な回答がなされたと判断し承認とします。</p> <p>条件付承認にあたり、下記の付帯事項を申し伝えます。</p> <p>① 現在、管理職は非常に困難な状況に置かれており、離職やバーンアウト等々も側面するところである。そういった時代において、看護管理者のリーダーシップ論の先行研究も一定の蓄積があると思われま。研究の意義の記述に当たっては、以上の先行研究を踏まえた上で、本研究の独自性を明示することが必要であると考えます。</p> <p>② 研究方法の記述にあたっては、何をどのように聞き取るのか、その内容を具体的に、明確なものにすることが必要であると考えます。</p> <p>③ 看護職及び若い看護士の教育と管理に携わる看護管理者の苦勞を聞き取っていく場合、インフォーマント(研究対象者)が、自らの傷ついた経験を想起して動揺する可能性は否めないと考えます。インフォーマント(研究対象者)への侵襲性の可能性について一定の認識が必要だと考えます。</p> <p>④ ①～③について、指導教員にも相談の上、別紙での説明を求めます。</p>			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-09	審査結果	2010年8月2日 承認	K-10
申請研究者	所属	映像学部	職名	教授
	氏名	細井 浩一		
研究期間(予定)	～ 2011年3月31日			
研究課題名	教育現場でのゲームニクスを利用した教材の学習効果についての研究(継続)			
審査委員会所見／備考	特に無し。			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-10	審査結果	2010年9月1日 承認	K-11
申請研究者	所属	言語教育情報研究科	職名	教授
	氏名	田浦 秀幸		
研究期間(予定)	～ 2011年3月31日			
研究課題名	脳科学による言語処理メカニズム解明研究:言語習得と保持・喪失			
審査委員会所見／備考	<p>前回の条件付承認時における下記指摘事項に関し、十分な回答がなされたと判断し承認とします。</p> <p>① 研究対象者の保護者向け説明文書・同意書案(インフォームド・コンセント)の委員会への提出を求めます。確認の結果、問題がないと判断した時点で承認とします。</p> <p>② 説明文書・同意書案(インフォームド・コンセント)作成の際には、日本神経科学学会「ヒト脳機能の非侵襲的研究」の倫理問題等に関する指針を参照してください。なお、研究対象者(被験者)に対する説明内容には十分ご留意いただくことを求めます。</p>			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-11		審査結果	2010年8月2日 承認	K-12
申請研究者	所属	文学部・心理学専攻	職名	教授	
	氏名	服部 雅史			
研究期間(予定)	～ 2011年3月31日				
研究課題名	洞察問題解決における潜在的認知とメタ認知の相互作用				
審査委員会所見／備考	実験参加報酬としての関連講義受講学生に対する成績加点については、すでにそのことがシラバスに明記されている事情も考慮し、今回は変更を求めないこととします。ただし、今回の事例は、今後の前例とはしないことを一言申し添えます。				

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-12		審査結果	2010年9月7日 承認	K-13
申請研究者	所属	社会学研究科	職名	博士前期課程2回生	
	氏名	島田 恵			
研究期間(予定)	～ 2010年 9月20日				
研究課題名	小学生がもつジェンダー意識に関する研究				
審査委員会所見／備考	<p>前回の条件付承認時における下記指摘事項に関し、十分な回答がなされたと判断し承認とします。</p> <p>① 参与観察の手法について、リアリティーを持って検討のうえ、別紙での説明を求めます。その際、以下の3点に関する説明を含めてください。</p> <p>(1) 参加者⇄観察者のバランスをどのように取るのか？ その両立は可能なのか？</p> <p>(2) 聞き取り調査等の介入のタイミングをどのように取るのか？</p> <p>(3) 参与観察をおこなう活動(子ども関係イベント)に対し、または、関係スタッフに対して、迷惑をかけないためにどのような配慮をおこなうのか？</p> <p>② 調査実施施設への説明内容(文書)を委員会へ提示してください。</p>				

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-13		審査結果	2010年8月2日 承認	K-14
申請研究者	所属	応用人間科学研究科・対人援助学領域	職名	修士課程2回生	
	氏名	横井 沙弥佳			
研究期間(予定)	～ 2011年 1月31日				
研究課題名	動物への行動的アプローチが対人関係に及ぼす効果				
審査委員会所見／備考	学内での介在動物(イヌ)を使用する実験については、その安全性に注意してください。また、介在動物(イヌ)に関し、法律上の賠償責任が生じる可能性を指導教員と相談の上、必要に応じて適切な対応を取られることを推奨します。				

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-14		審査結果	2010年8月2日 承認 (迅速審査)	K-15
申請研究者	所属	映像学部	職名	教授	
	氏名	細井 浩一			
研究期間(予定)	～ 2011年3月31日				
研究課題名	3Dメタバースにおける住空間構築と居住者コミュニティの可能性と課題 (高校生対象アンケート調査) (継続)				
審査委員会所見／備考	特に無し。				

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-15		審査結果	2010年10月4日 承認	K-16
申請研究者	所属	応用人間科学研究科・対人援助学領域	職名	修士課程2回生	
	氏名	藪内 佳子			
研究期間(予定)	～ 2011年 1月31日				
研究課題名	看護師の実践を支える経験—経験を積んだ看護師の語りを通して—				
審査委員会所見／備考	<p>① 研究遂行の際には、日本看護協会「看護研究における倫理指針」および国際看護師協会「看護研究のための倫理指針」を留意の上、研究対象者である看護ケア提供者のみならず、その語りの中に含まれる看護ケア対象者に対する倫理的配慮に関し、引き続き注意されることを求めます。</p> <p>② 修士論文以外の研究発表の可能性に関し、研究対象者への丁寧な説明を求めます。</p>				

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-16		審査結果	2010年10月4日 承認	K-17
申請研究者	所属	応用人間科学研究科・対人援助学領域	職名	修士課程2回生	
	氏名	尾上 都			
研究期間(予定)	～ 2011年 1月31日				
研究課題名	中年期における「転機の語り」退職教員のライフヒストリー				
審査委員会所見／備考	特に無し。				

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-17	審査結果	2010年12月13日 承認	K-18
申請研究者	所属	応用人間科学研究科・人間形成・臨床教育クラスター	職名	修士課程2回生
	氏名	村井 みや子		
研究期間(予定)	～ 2011年 1月31日			
研究課題名	患者に起こっている現象を捉えて生きる意味を問い直し、自らが対人援助を行うにおいて、求められているものは何かを探る			
審査委員会所見／備考	<p>① これまでの臨床経験における具体的事例を記述する際には、研究対象者である過去の患者からの同意取得が不可能な状況に留意し、個人の特定化につながる記述を避ける等、細心の注意を払うようにして下さい。</p> <p>② 臨床事例に係わる公表内容に関し、必要に応じて事例に関係する機関の承諾を得るようにして下さい。</p> <p>③ 上記に関して問題が生じた場合は、当委員会にご相談下さい。</p>			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-18	審査結果	2010年11月17日 承認	K-19
申請研究者	所属	産業社会学部	職名	教授
	氏名	竹内 謙彰		
研究期間(予定)	～ 2013年 3月31日			
研究課題名	発達障害当事者とその家族における発達支援ニーズに関する語りの発達心理学的分析			
審査委員会所見／備考	<p>前回の条件付承認時における下記指摘事項に関し、十分な回答がなされたと判断し承認とします。</p> <p>研究計画書に記載されたインタビュー手法に関し、発達障害者を抱える家族内のデリケートな問題を刺激する可能性があり、一定の倫理的配慮が必要だと考えます。下記3点に関し、別紙での説明を求めます。 (必要に応じてインフォームド・コンセント関連書類の修正もお願いします。)</p> <p>① 当事者とその両親に対する個別インタビューを原資料とし、個々に語られたエピソードを突合せさせることにより、どのような倫理的な問題が生じ得るのか？</p> <p>② そのことに関し、事前にどのような配慮が可能であるのか？</p> <p>③ インタビュー後、どのようなディプリングが想定し得るのか？</p>			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-19	審査結果	2010年10月14日 承認	K-20
申請研究者	所属	応用人間科学研究科	職名	修士課程2回生
	氏名	北村 真也		
研究期間(予定)	～ 2010年 12月31日			
研究課題名	ポストモダンにおける学習者中心の学びの実践			
審査委員会所見／備考	<p>前回の条件付承認時における下記委員会所見に対する回答により、承認とします。</p> <p>経営責任者としての自らの実践事例であっても、記述される個々のエピソードについては、実名の頭文字を使用しないことはもちろん、その他個人が特定されないよう最大限配慮してください研究の必要上、個人が特定され得る記述をせざるを得ない場合は、その個人からの了解を得ることが必要だと考えます。 委員会からの以上の指摘に関し、どのような配慮がなされるのか別紙での説明を求めます。</p>			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-20	審査結果	2010年10月20日 承認	K-21
申請研究者	所属	国際関係研究科	職名	博士後期課程・院生
	氏名	野島 大輔		
研究期間(予定)	～ 2010年 11月19日			
研究課題名	世界秩序の構成を主眼とした国際関係論教育の構想 —中等教育でのカリキュラム実例の作成を論点として—(予定)			
審査委員会所見／備考	<p>前回の条件付承認時における下記委員会所見に対する回答により、承認とします。</p> <p>授業実践を研究対象とし、その内容を外部に公表することに関し、研究対象者への説明および同意取得が適切になされることが重要だと考えます。 インフォームド・コンセント関連書類(説明文書・同意書)を修正のうえ、再度提出いただくことを求めます。</p>			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-21	審査結果	2010年11月15日 承認	K-22
申請研究者	所属	社会学研究科	職名	研修生
	氏名	富澤 公子		
研究期間(予定)	～ 2011年12月31日			
研究課題名	長寿とスピリチュアリティ 沖縄・奄美群島の超高齢者を対象として			
審査委員会所見／備考	特に無し。			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-22	審査結果	2010年10月28日 承認(迅速審査)	K-23
申請研究者	所属	応用人間科学研究科・臨床心理学領域	職名	修士課程2回生
	氏名	水戸 薫		
研究期間(予定)	～ 2011年 1月25日			
研究課題名	自動思考が抑うつと行動的コーピングに与える影響			
審査委員会所見／備考	特になし。			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-24	審査結果	2010年11月15日 承認	K-24
申請研究者	所属	産業社会学部	職名	教授／准教授
	氏名	山本 耕平／斎藤 真緒		
研究期間(予定)	～ 2011年3月30日			
研究課題名	「ひきこもり状態にある若者に対する訪問支援の試行的実施を通じた効果検証および具体的支援方法を確立するための調査研究」			
審査委員会所見／備考	特に無し。			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-25	審査結果	2010年12月13日 承認	K-25
申請研究者	所属	応用人間科学研究科・臨床心理学領域	職名	修士課程2回生
	氏名	中谷 千鶴		
研究期間(予定)	～ 2011年1月31日			
研究課題名	ヒヤリ・ハットを経験した看護職員への心理的支援の検討—ヒヤリ・ハットを経験した看護職員がその場に踏みとどまることができた要因、及びサポートがコーピングに及ぼす影響—			
審査委員会所見／備考	特に無し。			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-26	審査結果	2011年2月2日 承認	K-26
申請研究者	所属	応用人間科学研究科・対人援助学領域	職名	修士課程2回生
	氏名	太田 恵子		
研究期間(予定)	～ 2010年12月31日			
研究課題名	通信制高校における生徒が登校できる環境作りに関する考察			
審査委員会所見／備考	<p>前回条件付承認(2010.12.13)における下記委員会所見に対する1月28日付の回答により、承認とします。</p> <p>① 研究対象である通信制高校校長の承諾書の提出を求めます。</p> <p>② 研究協力依頼書(同意書)の説明内容の一部修正を求めます。</p>			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-27	審査結果	2010年12月3日 承認(迅速審査)	K-27
申請研究者	所属	国際関係研究科	職名	博士後期課程・院生
	氏名	野島 大輔		
研究期間(予定)	～ 2011年3月10日			
研究課題名	世界秩序の構成を主眼とした国際関係論教育の構想 —中等教育でのカリキュラム実例の作成を論点として—			
審査委員会所見／備考	特に無し。			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-28	審査結果	2011年3月3日 承認	K-28
申請研究者	所属	言語教育情報研究科	職名	修士課程2回生
	氏名	木下 奈緒子		
研究期間(予定)	～ 2011年1月28日			
研究課題名	多文化共生のために初等教育で異文化理解能力を養うアプローチ			
審査委員会所見／備考	<p>前回条件付承認(2011.1.28)における下記委員会所見に対する3月1日付の回答により、承認とします。</p> <p>申請された研究計画を審査した結果、計画が未成年者を対象としていることなどを踏まえ、下記の点について条件を付したうえで、条件付承認といたします。</p> <p>① 調査に参加しない児童への配慮 参加への参加を希望しない児童は拳手させ、その場から退出させるとしているが、児童館という児童保育の場での調査を考えると、参加しない児童には別のアクティビティを準備するなど、調査に参加しないことによる不利益を被ることのないような配慮が必要である。</p> <p>② インフォームド・コンセント 保護者・施設側へのインフォームド・コンセントにおいては、調査実施の方法、記録の取り方(録音・録画の有無を含めて)、記録の保管と廃棄の方法についても詳細に説明していただき、同意を取得することが必要である。</p> <p>③ 研究成果の公開方法 現段階では、調査結果は修士論文の作成のみに使うものとされているが、審査申請書の注意事項にも明記されているとおり、研究成果は何らかの形態で社会に向けて公開することを前提としているため、成果の公開について検討いただきたい。</p> <p>なお、既に調査が終了しているという事情を考慮し、条件充足の確認対象としては、調査実施施設の施設責任者からの同意書取得のみを求めるとします。</p>			

受付番号／承認番号	衣笠-人-2010-29	審査結果	2011年3月28日 承認	K-29
申請研究者	所属	文学部・心理学専攻	職名	教授
	氏名	北岡 明佳		
研究期間(予定)	～ 2012年3月31日			
研究課題名	新しい錯視群のメカニズムの研究 (研究資金である科研・基盤研究Aの申請タイトルは「新しい錯視群の多面的研究—実験心理学・脳機能画像・数理解析の手法を用いて—」)[2010年度より継続]			
審査委員会所見／備考	特になし。			

びわこ・くさつキャンパス審査委員会(3件の研究計画を承認)

受付番号/承認番号	BKC-人-2010-01		審査結果	2010年8月3日 承認	B-1
申請研究者	所属	スポーツ健康科学部	職名	教授	
	氏名	岡本 直輝			
研究期間(予定)	～ 2012年3月31日				
研究課題名	競技者の敏捷性テストの開発				
審査委員会所見/備考	条件付承認時の下記付帯事項に関し、修正された研究計画書が提出されたため、承認とする。 ①個人データの保管期間 ②実験内容の詳細記述 ③インフォームド・コンセント時の告知内容				

受付番号/承認番号	BKC-人-2010-02		審査結果	2011年1月28日 承認	B-2
申請研究者	所属	情報理工学部	職名	准教授	
	氏名	北野 勝則			
研究期間(予定)	～ 2012年3月31日				
研究課題名	NIRSを用いた基礎的なドラム演奏時における脳活動計測				
審査委員会所見/備考	2011年1月28日付にて下記項目について修正された各種申請書を確認できた為、当該実験の実施を許可いたします。 【承認条件】 ① 実験対象人数の明確化。 ② 対象者の申し出があればいつでも実験を中止できることを明記。 ③ 実験を途中で中止した場合の謝礼の取扱いについて明記。 ④ その他、委員会修正指摘事項についての修正。				

受付番号/承認番号	BKC-人-2010-03		審査結果	2011年2月15日 承認	B-3
申請研究者	所属	理工学部	職名	准教授	
	氏名	野方 誠			
研究期間(予定)	～ 2014年2月28日				
研究課題名	歩行支援機器開発のための動作計測と動作判定				
審査委員会所見/備考	特に無し。				